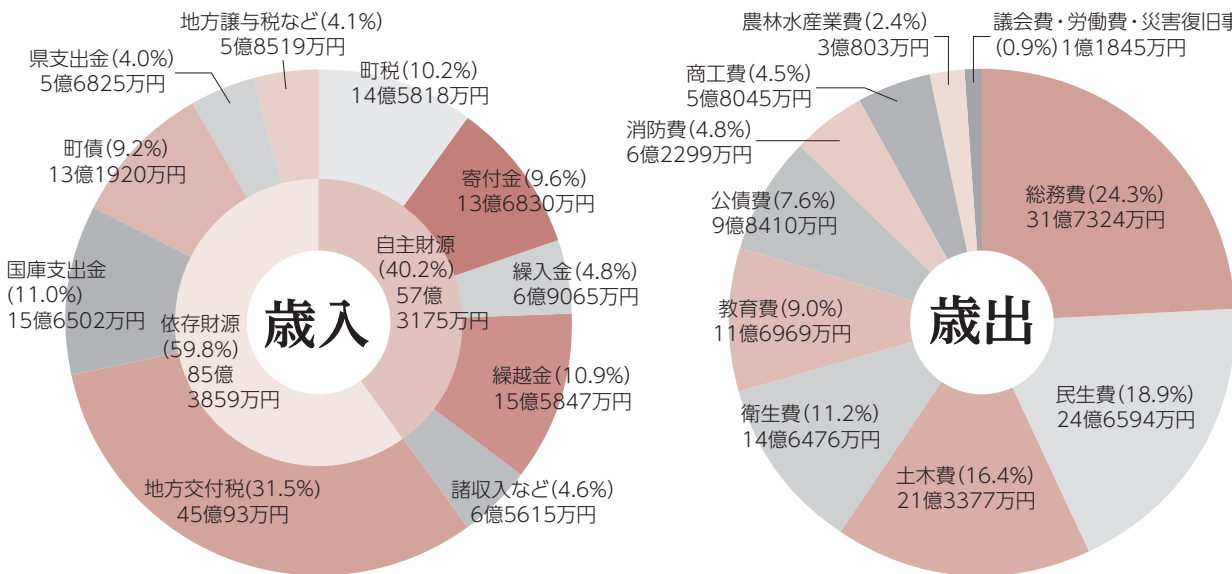


# 令和6年度決算から見る まちの家計簿



## ①令和6年度 普通会計の決算の状況

町の決算状況は、歳入 142 億 7034 万円－歳出 130 億 2142 万円＝12 億 4892 万円でした。  
ただし、12 億 4892 万円の中には来年度使う予定のお金が 2 億 268 万円\* あることから、実際の収支は、12 億 4892 万円－2 億 268 万円＝10 億 4624 万円となり、黒字決算となりました。  
※繰越明許費等繰越財源



※構成比は端数処理の関係で合わない場合があります。

## ②町民の皆さん一人あたりのお金の使い道

普通会計の決算額から算出すると、町民の方お一人に対し **102.8 万円** のサービスを行っています。  
※令和7年1月1日の人口により算出

<p><b>町政運営や地域振興に</b></p> <p><b>25.1万円</b> (総務費)</p> <p>ふるさと納税の事務や移住定住の促進、自治会への助成など</p>	<p><b>福祉の充実に</b></p> <p><b>19.5万円</b> (民生費)</p> <p>高齢者・障害者福祉、子育て支援など</p>	<p><b>道路や港などの管理や整備に</b></p> <p><b>16.8万円</b> (土木費)</p> <p>道路や港湾、公園、雨水公共下水道の整備や管理など</p>	<p><b>環境・衛生の向上に</b></p> <p><b>11.6万円</b> (衛生費)</p> <p>ごみの収集や処分、予防接種など</p>
<p><b>教育・文化の振興に</b></p> <p><b>9.2万円</b> (教育費)</p> <p>内海地区統合小学校の整備、小中学校の運営、文化・スポーツの振興など</p>	<p><b>借金の返済に</b></p> <p><b>7.8万円</b> (公債費)</p> <p>町が借り入れた町債の償還元金と利子</p>	<p><b>産業の振興に</b></p> <p><b>7.0万円</b> (商工・農林水産業費)</p> <p>漁港の管理、農林水産業の活性化、商工業・観光の振興など</p>	<p><b>消防や救急に</b></p> <p><b>4.9万円</b> (消防費)</p> <p>消防施設の管理・運営、常備消防への負担金、防災行政無線の更新など</p>

※その他議会費など 0.9 万円

### ③令和6年度に実施した主な事業

#### 産業の再興と雇用基盤の強化

地域経済循環創造事業による新規ビジネス 立ち上げ支援	1億576万円
瀬戸内国際芸術祭推進事業	3767万円
小豆島ふるさと村再整備事業	1227万円
事業者販路開拓支援事業	1085万円
持続可能な観光推進事業	385万円

#### 公共交通の確保と港の再整備

坂手ポートターミナルの整備	11億1820万円
小豆島オーリーブスの運営支援	7212万円
オーバーツーリズム対策事業	2368万円

#### 集落活性と空き家活用

池田地区更新住宅の整備	2億7129万円
老朽危険空き家の除却支援	5415万円
空き家資源活用事業	1187万円
若者への住宅取得支援	950万円

#### 教育・子育て環境の充実

内海地区統合小学校整備事業	1億7165万円
小・中学生の給食費無償化	3660万円
STEAMアイランド事業	2375万円
町単独子ども医療費助成事業	1688万円
小豆島中学校体育館雨樋修繕	1507万円
出産・子育て応援給付金	988万円
英語教育の充実	532万円

#### 安全・安心施策の推進など

ふるさと納税の推進	13億877万円
小豆島中央病院の運営支援	3億977万円
防災行政無線の更新	1億3303万円
雨水浸水被害の防止対策	5317万円
有害鳥獣被害の防止対策	2175万円
民間住宅耐震診断・改修支援	300万円

### ④まちの決算を家計簿に例えると

町の財政と一般家庭の家計を単純に比較することはできませんが、皆さんにイメージしてもらいやすいよう、町の会計を年収480万円（月収40万円）のご家庭における家計簿にしてみました。

区 分	決算上の区分	金 額	区 分	決算上の区分	金 額
給料	町税	4.1万円	食費	人件費	5.1万円
パート収入	使用料、手数料など	0.9万円	医療費・保育料	扶助費	3.2万円
親の援助	地方交付税、国県支出金など	20.2万円	ローンの返済	公債費	2.8万円
貯金の取り崩し	繰入金	1.9万円	光熱水費・通信費など	物件費、補助費等の一部	5.6万円
前月の残金	繰越金	4.4万円	保険料・自治会費など	補助費等の一部	4.3万円
友人の援助	寄付金	3.8万円	友人の援助に対するお礼	補助費等の一部	1.0万円
雑収入	諸収入	1.0万円	親族への援助	貸付金、補助費等の一部	0.5万円
ローンの借入	町債	3.7万円	車の修理代など	維持補修費	0.2万円
			貯金	積立金	4.0万円
			子どもへの仕送り	繰出金	2.3万円
			車の購入など	普通建設事業費	7.1万円
合 計		40.0万円	合 計		36.1万円

残額（翌月への繰越） 3.9万円

#### 資産等の状況は…

預貯金残高（基金残高） 282.0万円      ローン残高（町債残高） 343.2万円※

※ローン残高に対し、親の援助（地方交付税による補填）が252.0万円あるため、実質的なローン残高は91.2万円となり、預貯金残高を下回っています。